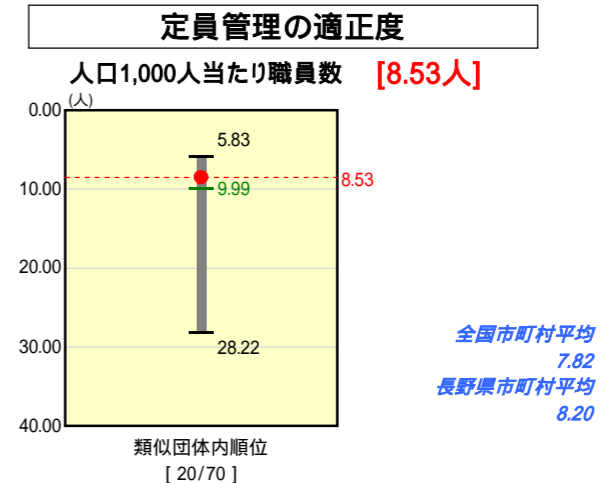
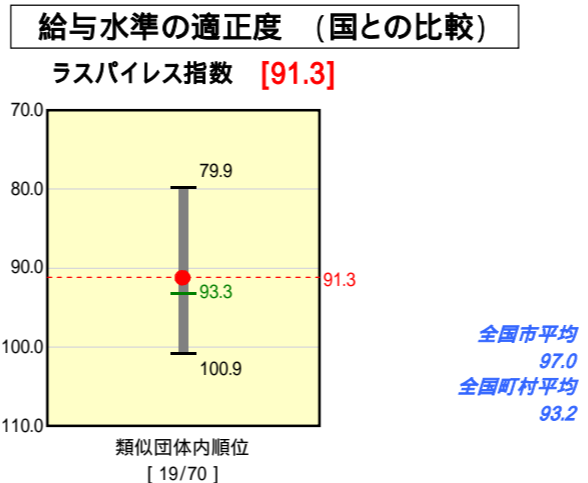
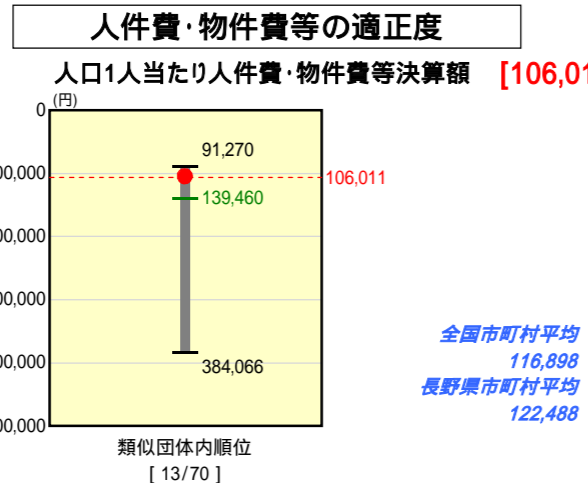
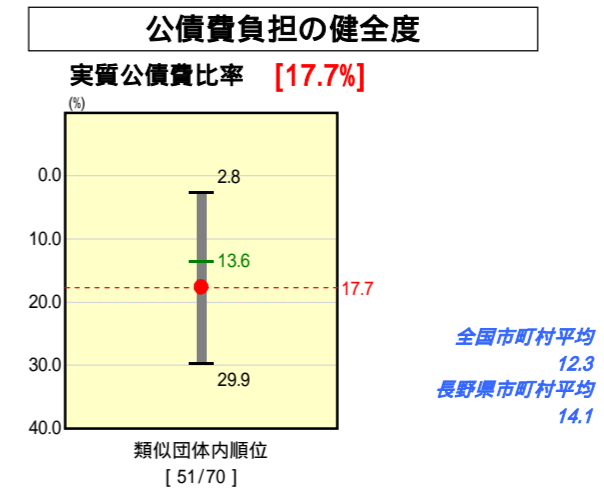
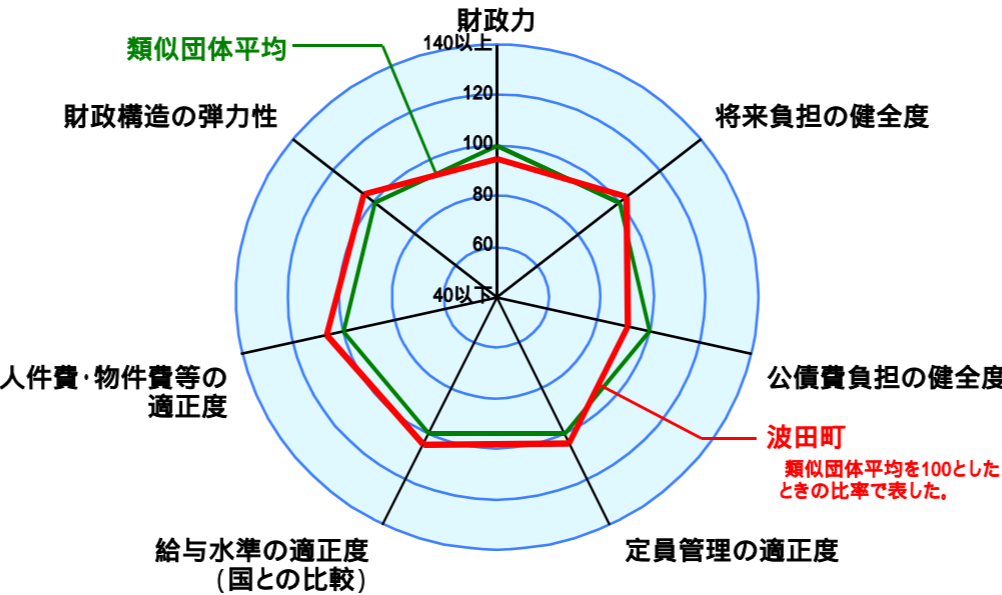
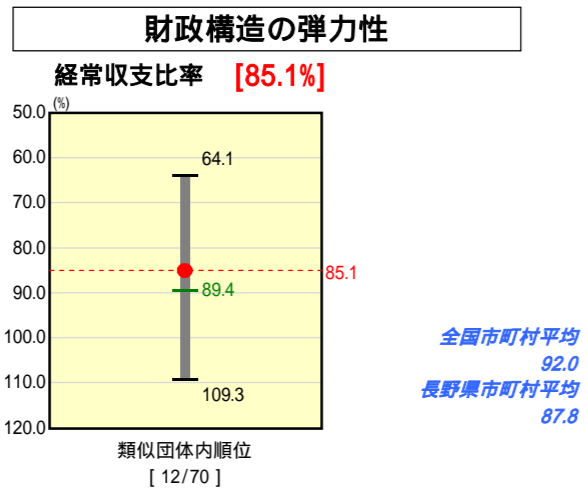
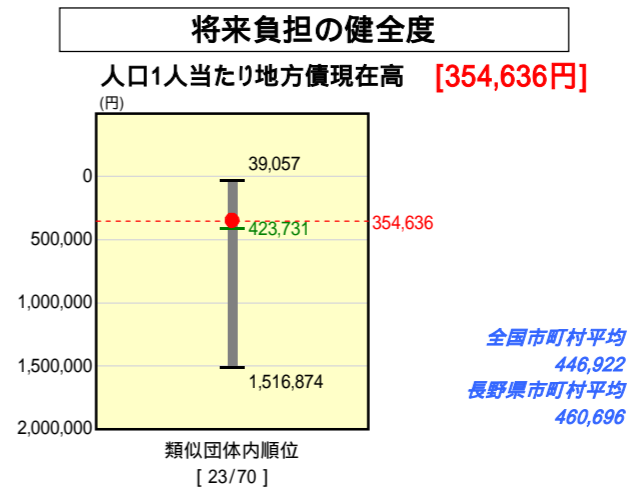
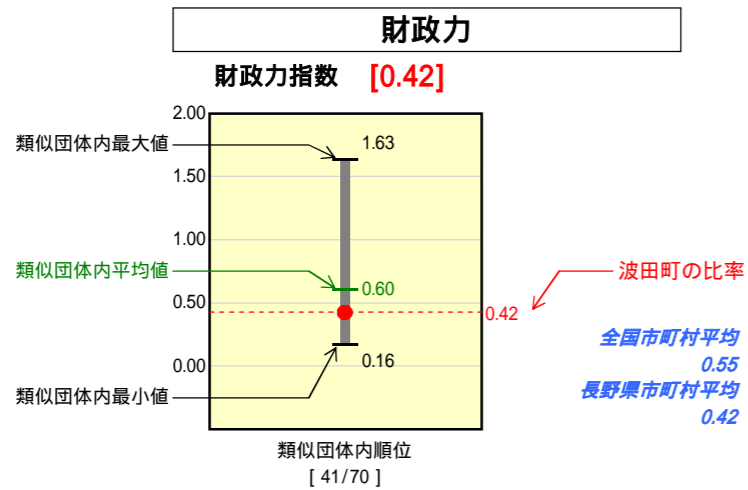


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 波田町

人口	15,234 人(H20.3.31現在)
面積	59.42 km ²
歳入総額	5,214,394 千円
歳出総額	5,063,105 千円
実質収支	133,289 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数
 町内に有力な産業が無いことから税財源に乏しく地方交付税に依存する財政構造となっている。類似団体平均を下回る傾向にあることから地方税の徴収強化等の取り組みを通じて財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
 社会保障費等は依然として増加傾向にあったが、人件費や公債費を含めた経常経費の地道な圧縮により、類似団体平均及び県内市町村平均を下回る結果となった。

人件費・物件費等の適正度
 平成16年度に策定した「自立のための計画」に基づき、特別職、議員報酬、一般職の給与カットを継続実施しているため、類似団体平均及び県内市町村平均を大幅に下回る結果となった。また物件費等についても予算編成時に一律削減等を行い、抑制を図った。

給与水準の適正度(ラスパイレス指数)
 平成16年度に策定した「自立のための計画」に基づき、実施されている職員給のカットにより、類似団体及び全国市町村平均と比べても低い水準となった。

定員管理の適正度
 類似団体平均は下回っているものの、過去の大型施設の建設に合わせた大量雇用により全国及び県内市町村平均を上回っている状況である。現在では、平成16年に策定された「自立のための計画」を上回って職員の削減がなされているため、順次適正化が図られていく見通しである。

将来負担の健全度
 全国市町村平均、県内市町村平均、類似団体平均とも下回っている状況にあることは特筆すべき事項である。今後とも住民ニーズ等を的確に把握する中で地方債に頼らない財源の確保に努め健全な財政運営を図ることとする。

公債費負担の健全度
 大規模な繰上償還や低利債への借換え等を実施し、公債費負担の適正化を図っているところであるが、過去において実施された箱物事業のために借り入れた地方債は交付税算入の切れたものがほとんどである。このことが実質公債費比率を引き上げる要因となっていることから、公営企業への繰上金も含めた中でさらに公債費負担適正化のための施策を実施する必要がある。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。